

地域住民との連携による農空間保全

とうききた

陶器北地域農空間保全協議会（堺市）

- 陶器北地区は、H19年度には場整備事業が完了し、土地改良区を中心に、農地や水路、農道等の保全管理をすすめてきたが、近年、農業従事者の高齢化や後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H25年度に関係自治会(陶器北)と土地改良区、近隣小学校、JAにより陶器北地域農空間保全協議会が設立され地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

活動開始前の状況や課題

- H19年度には場整備が完了し、地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題
- ほ場整備の完了から約10年が経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題



取組内容

- 溝さらえや草刈りに加え、農道の路面補修や水路・会所枠の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- JAと連携し、地元小学校(東陶器小学校)の農業体験(田植え、稻刈り、新米を使った調理実習、しめ縄作り)等、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。



資源向上取組地区

【地区概要】

取組面積	32.34ha	[田31.01ha 畑1.33ha]
農業用施設	開水路19.6km 農道 26.4km	パイプライン0km ため池 3箇所
主な構成員	自治会、土地改良区、農協、小学校	
交付金	956千円（農地維持） 1,158千円（資源向上）	

取組の効果

- 土地改良区が中心となって各集落の状況を集約し、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- 東陶器小学校5年生約100名の農業体験を地域農家の指導により年間通じて実施し、子どもの地域農業への理解促進、交流が進むとともに、遊休農地の発生防止にも寄与している。

